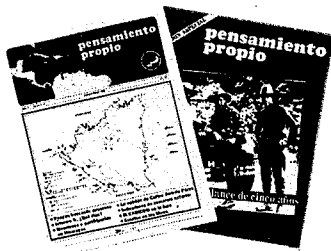


石井 章
(調査研究部)

ニカラグア経済社会研究所 (Instituto Nicaragüense de Investigaciones Económicas y Sociales) は中米、カリブ地域を対象とする社会科学の調査研究、情報センターとして、革命後の1982年に設立された。INIESは中米、カリブ地域に関して次のような基本的認識に立っている。すなわち今日この地域が直面する危機的状況はけっして一時的なものではなく構造的、長期的なものであり、その克服をめざした実現可能な政策の選択肢を見出すためには、危機の社会経済的根源に関する体系的な分析が必要である、とするものである。

INIESはフォード財団、キリスト教団体等を含む数々の国際組織から資金援助を受けており、予算面でも研究のうえでも政府から独立した機関であるが、ニカラグア革命の基本的方向を是認すること、および中米、カリブ地域が従属的な状態におかれているという認識を有し、そこからの脱却を目指すこと、といった方向性は否定しがたい。



INIESには調査研究部、資料情報部、広報部の3部がおかれている。調査研究部は組織上三つの「領域」(Area)に分かれる。第1が「国民社会形成領域」で、国の社会的動勢を見出すこと、および変革の戦略を描くことをその目的とし、ニカラグアにおける社会形成の特異性および支配的な特徴を、歴史的、実証的な方法で研究することを旨としている。第2が「変革に関する諸問題の領域」で、ここで扱うテーマは、従属諸国における発展と変革の諸問題、混合経済、民族と国民の間の諸矛盾、国家の活動および

生産における大衆組織の参加とコントロール、都市と農村の発展のバランス等である。第3が「地域の現実に関する領域」で、中米およびカリブ地域に関する包括的な調査研究を行なう。主な研究テーマは、地域の経済補完性に関する調査研究、域内諸国の種々の発展モデルに関する比較分析、識字教育および大衆教育の経験の体系化等である。

資料情報部は、500種の定期刊行物を含む約5000点の図書資料を有し、国内外の研究機関および研究者個人に情報を提供する。広報部は編集、出版、普及活動を行なう。出版物は月刊の情報分析誌 *Pensamiento Propio*、およびより専門的な不定期刊行物 *Cuadernos de Pensamiento Propio* である。

INIESの仕事は中米、カリブ地域内外の研究機関や専門家の協力によって補完されるべき性格のものである。そのための国際的な研究連絡組織として CRIES (Coordinador Regional de Investigaciones Económicas y Sociales, 経済社会問題研究のための地域調整委員会) が設置されている。CRIESのメンバーとなっているのはニカラグア国内ではINIESの他、農地改革調査研究センター(CIERA)中米歴史研究所の3機関、中米、カリブ地域内ではグアテマラの中米資料情報・社会調査研究所(ICADIS) 他、コスタリカ、ホンデュラス、パナマ、エルサルバドル、キューバ、ジャマイカ、ドミニカ共和国、ガイアナ、プエルトリコ各国の15の機関である。域外からは米国、カナダ、メキシコ等の研究機関、情報センターが協力者として名をづらねている。

INIESおよびCRIESの本部は、国際級ホテル Hotel Intercontinentalから坂道を2ブロック登ったところの閑静な住宅地にあり、日本大使館からも近い。INIESの所長はイエズス会の司祭でもある Xabier Gorostiaga氏。住所は、Del restaurante Los Antojitos 2 cuadras al sur, Apartado Postal C-16, Managua, Nicaragua.